

ByePass+アプリの準備

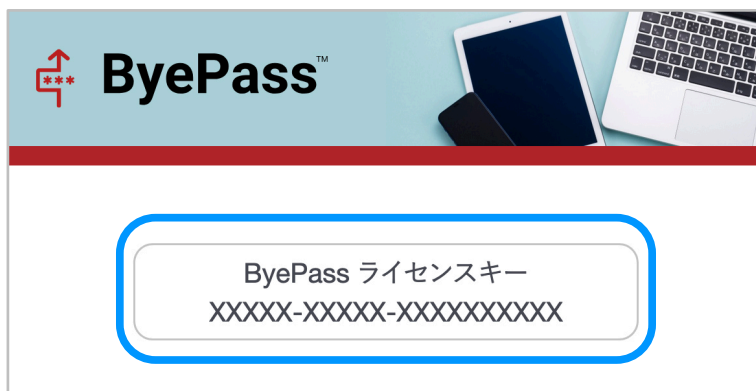
ByePass+アプリのインストールとアカウント作成がまだ完了していない場合は、まず以下のサイトの「**ByePass会員ページへ**」ボタンから会員ページにアクセスし、アプリをインストールしてByePass+アカウントを作成してください。

<https://bypass.mopita.com>

上記にアクセスしても「**ByePass 会員ページへ**」ボタンが表示されない場合は、長期間未ログインのためログアウト状態になっていると思われます。

その場合は、「**mopitaにログイン**」ボタンからログイン画面に進み、登録時のログイン方法（キャリアアカウントでの連携ログインまたはmopita IDとパスワードによるログイン）にてmopitaにログインしてください。

ByePass+アカウント作成に必要なライセンスキーは、会員ページに表示されています。



会員ページのボタンより、それぞれのストアを開いてアプリをダウンロード・インストールしてください。



ByePass+アプリの設定については、以下よりご確認ください。

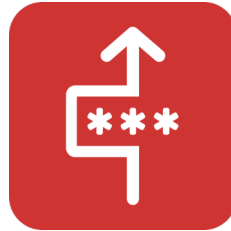


ByePass+アカウント作成に使用するメールアドレスは、これまで使っていたByePassアカウントのメールアドレスと同じである必要はありません。

マスターパスワードは開発元でも知ることができないため、忘れないように覚えておいてください。

データをインポートする

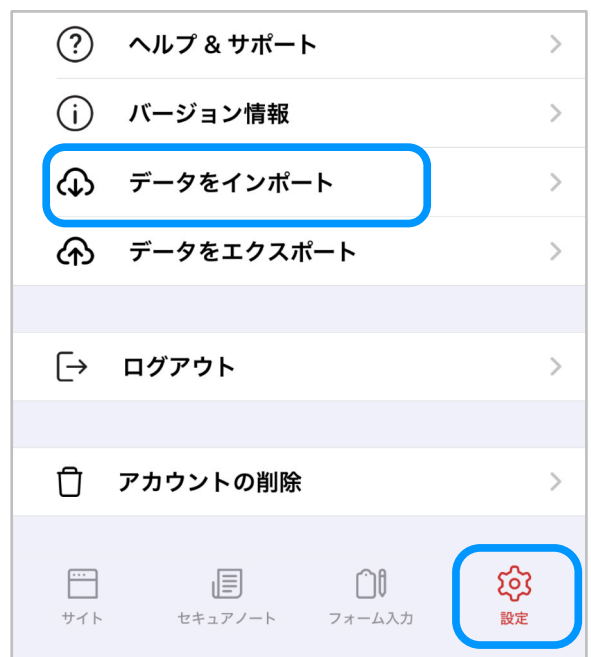
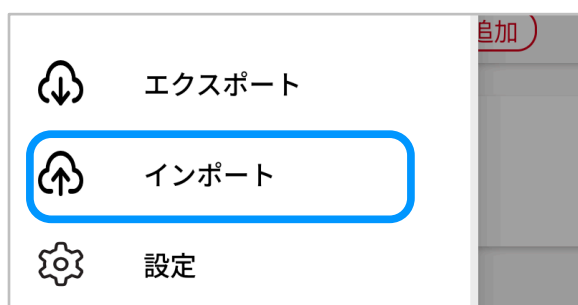
1 ByePass+アプリを起動します。



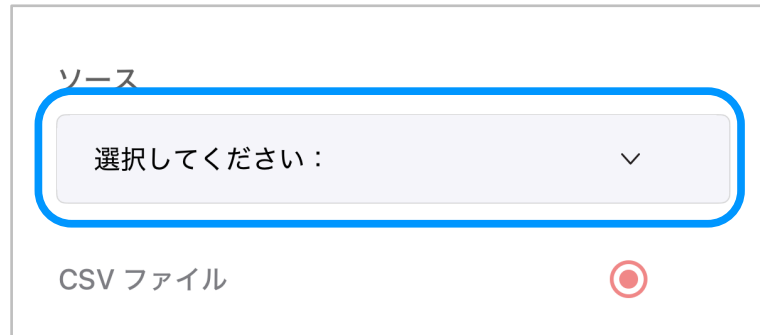
ログイン画面が表示される場合は、アプリ設定時に登録したByePass+アカウントのメールアドレスとマスターパスワードでログインします。

2 **Android:** 左上のメニューを開き、「インポート」を選択します。

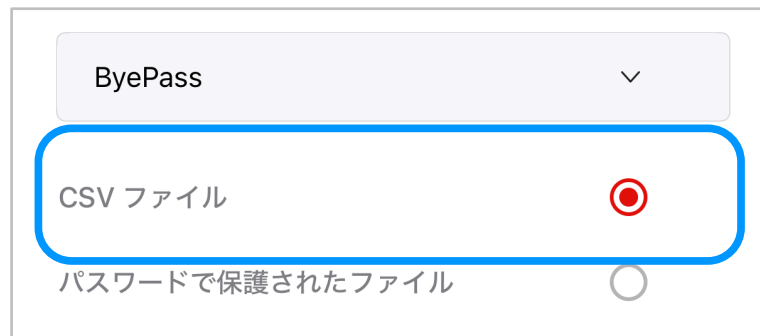
iOS: 画面右下の**設定**ボタンをタップし、「データをインポート」を選択します。



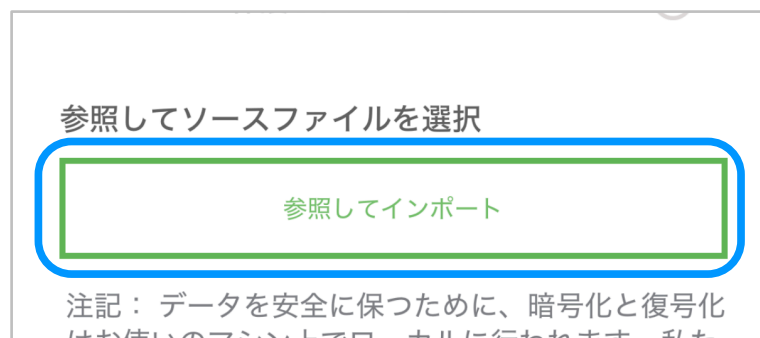
3 「ソース」のメニューを開いて「ByePass」を選択します。



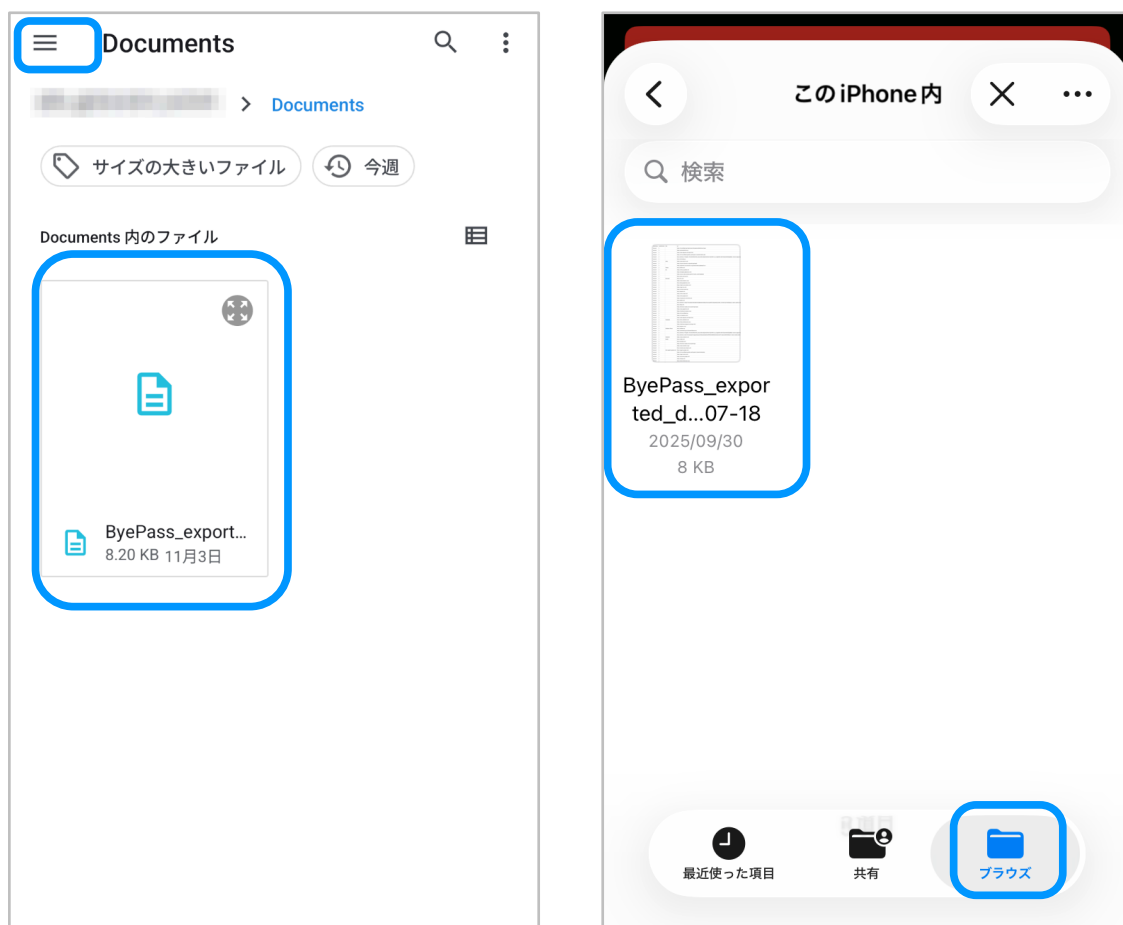
4 「CSVファイル」が選択されていることを確認します。



5 「参照してインポート」をタップします。



6 ByePassからエクスポートしておいたファイルを見つけて選択します。



Android: ByePassからエクスポートしたファイルのある場所に移動するには左上のメニュー等を利用します。
(ファイル管理アプリによって操作方法が異なります)

iOS: ByePassからエクスポートしたファイルのある場所に移動するには、「**ブラウズ**」をタップします。

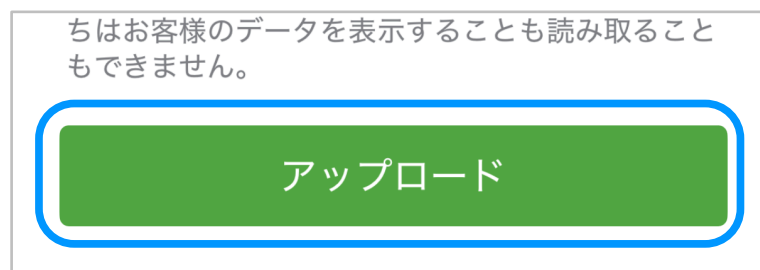
ByePassからエクスポートしたファイルは、“ByePass_exported_data_XXXX-XX-XX.csv”といった名前です。

ファイルの場所がわからなくなった場合は、検索してみてください。

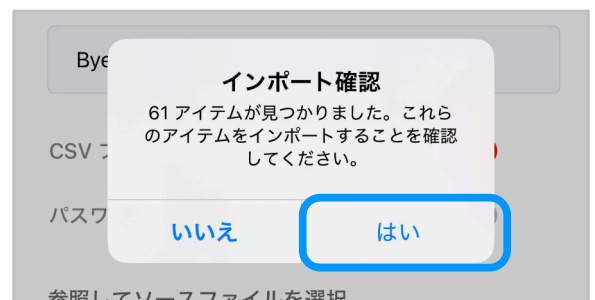
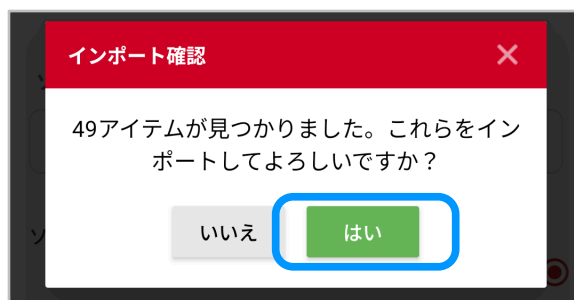
7 ファイルが選択されたことを確認します。



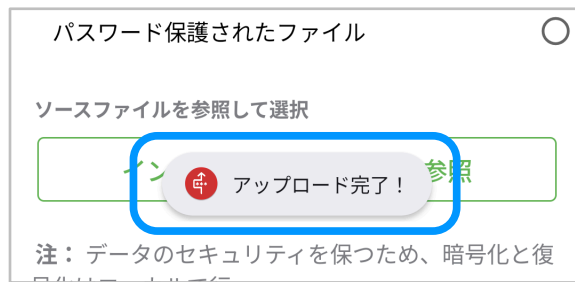
8 「アップロード」をタップします。



9 インポート確認のメッセージが表示されたら「はい」を選択します。

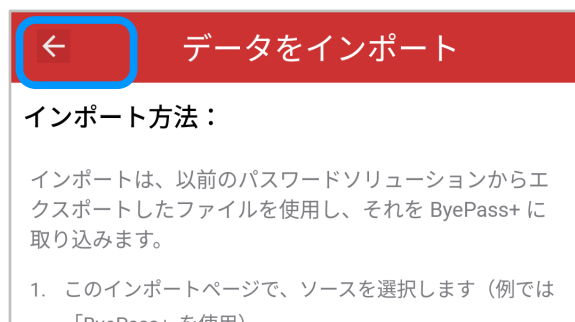


10 アップロードが完了した旨のメッセージが表示されます。



iOSのみ: 「OK」をタップしてメッセージを閉じます。

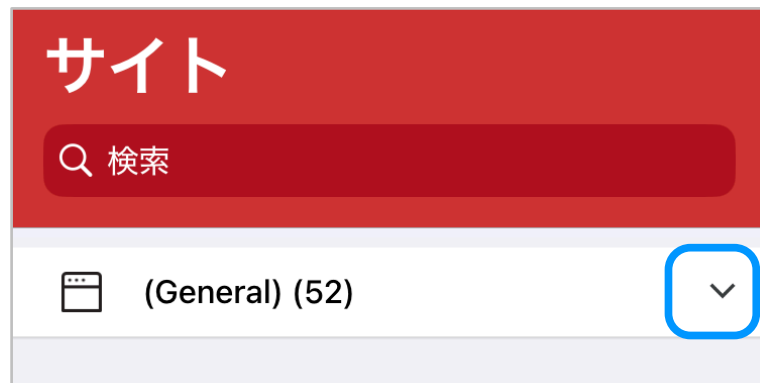
11 インポート画面左上の矢印をタップして戻ります。



12 サイト、セキュアノート、フォーム入力の画面それぞれを開いて、インポートされたデータを確認します。



サイトとセキュアノートでは、インポートされたデータはフォルダに格納されます。フォルダの右にあるアイコンをタップすると、フォルダを開閉できます。



これでByePassからのパスワードデータのインポートは完了しました。

それぞれのデータがByePass+に正しくインポートされているか、ご確認をお願いします。

- ByePass+では、サイト名とサイトアイコンが自動的に作成される場合があります。必要に応じてわかりやすいサイト名に変更してください。
※ サイトアイコンは変更できません。
- ByePass+ではセキュアノートとフォームのテンプレートが増えました。ByePassからインポートしたセキュアノートとフォームの内容が意図通りに反映されているか、データの欠落がないか、ご確認をお願いします。

すべてのデータが無事にインポートされていることを確認するまで、ByePassからエクスポートしたファイルは、**削除せ**

ずに安全な場所に保管しておくことをお勧めします。

ByePassからCSVファイルとしてエクスポートしたデータは、Microsoft Excel、Google スプレッドシート、Apple Numbers などの表計算アプリで開いて内容を確認、コピーしていただくことができます。